



洞爺湖有珠山ジオパーク ユネスコ世界ジオパーク再認定審査

現地審査対応報告書

Revalidation of the UNESCO Global Geopark
for the Toya - Usu UNESCO Global Geopark

2023（令和5年）年7月8日～7月12日

北海道伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

■ 審査の概要

世界ジオパークネットワーク認定地域には、ユネスコによる4年に1度の再認定審査が義務付けられております。今回、当地域にとって4回目となる再認定審査（現地審査）が、2023年7月8日～12日に行われました。

審査では、ユネスコから派遣された2名の審査員が、各見どころ（ジオサイト）や関係施設を訪れ、ユネスコの評価基準に基づき調査を行いました。

審査終了後の講評（7月12日）では、審査員より、火山との共生、減災文化と教育、そして地域との関わりについて、高い評価を受けました。また、当ジオパークの活動がより充実したものとなるためのアドバイスとして、ユネスコジオパークの新しいロゴマークの導入、世界ジオパークネットワークとの交流促進、マーケティングの活用、観光客の長期滞在について提言がありました。

審査員2名はこの現地調査の報告書を、ユネスコのジオパーク担当部局に提出し、本年9月の「ユネスコ世界ジオパーク評議会会議」で審議される予定です。

■ 現地調査 審査員

○ ジン・ジシン（景 之星） 先生（中国）

Mr. Jing Zhixing, China



役職：房山ユネスコ世界ジオパーク 副所長

在籍ジオパーク：房山ユネスコ世界ジオパーク

北京南西部と河北省の境界に位置し、**2006年**に世界ジオパーク認定を受けた。「地質学の百科事典」と呼ばれ、非常に豊富な地質遺跡があり、**35億年**にわたって発達した一連の岩石層が残っている。
また、**70万年**前にこの地域に住んでいた「北京原人」が発見され、人類発祥の地の一つとも言われている。

（出典：ユネスコ ホームページ）

○ ハン・ジンファン（韓 晋芳） 先生（中国）

Dr. Han Jinfang, China



役職：中国旅游研究院 研究員 敦煌ユネスコ世界ジオパーク等に関係

敦煌ユネスコ世界ジオパーク

中国北西部にある甘粛省の砂漠地帯に位置する。風や雨水により地表の柔らかい砂地が削られ、堅い岩石部分が残ることによって形成されるヤルダン地形が特徴で、その密集した分布、優美な形状などが世界的に貴重であり、**2015年**に世界ジオパーク認定を受けた。

（出典：ユネスコ ホームページ）

■ 全体スケジュール

7月8日(土) (審査員移動日)

- 14:00 審査員到着(アボイ岳ユネスコ世界GPから移動)
- 14:10 洞爺湖ビジターセンター/火山科学館
- 15:10 オープニングミーティング、施設紹介(ジオパークと大地の恵み展会場)
- 16:10 洞爺湖温泉観光協会
- 16:30 終了

7月9日(日)

- 8:20 三松正夫記念館
- 9:00 昭和新山ガイドツアー
- 10:20 火山村情報館/有珠山ロープウェイ
- 11:30 有珠山テラス~火口原展望台ガイドツアー
- 13:30 昼食(ナミハイピザ)
- 15:00 豊浦町礼文華キャンプ場、豊浦町アイヌ文化情報発信施設イコリ
- 16:20 とうや・水の駅
- 17:20 乃の風リゾート着(審査員休憩)
- 18:30 プレゼンテーション①(乃の風リゾート 会議室)
- 19:00 歓迎夕食会
- 20:00 終了

7月10日(月)

- 8:20 西山山麓散策路ガイドツアー
- 10:15 虻田郵便局
- 10:40 洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設 ウトゥラノ
- 11:00 入江・有珠地区アイヌ語地名ガイドツアー
- 12:45 昼食(ホテルローヤル)
- 13:30 プレゼンテーション②「火山マイスター制度と活動」 ガイド意見交換会(ホテルローヤル)
- 15:00 北黄金貝塚世界遺産サイト
- 16:45 入江・高砂貝塚世界遺産サイト
- 終了

7月11日(火)

- 7:50 洞爺湖文化センター集合
- 8:15 かわなみ パートナーホテル
- 9:00 白絹の床サイト紹介
- 10:00 道の駅そうべつ情報館i
- 10:40 プレゼンテーション③/パートナー意見交換(地域のあそびばミナミナ)
- 12:30 昼食(わかさいも)
- 14:00 観光情報センター(審査資料確認)
- 16:00 終了

7月12日(水)

- 8:30 クロージングミーティング
- 9:30 メディア取材
- 10:30 審査員出発(新千歳空港へ移動)

7月8日（土） スケジュール

14:10 洞爺湖ビジターセンター/火山科学館 視察

15:10 オープニングミーティング 発表：下道 英明 会長『歓迎挨拶』

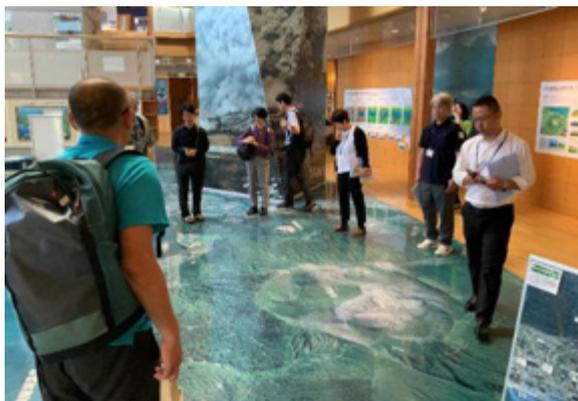
：加賀谷 にれ 事務局次長『審査行程/指摘事項に対する取り組み状況』

15:40 ジオパークと大地の恵み展会場 視察 説明：中谷 麻美 事務局員

16:10 洞爺湖温泉観光協会 視察 説明：藤岡 綾 洞爺湖温泉観光協会スタッフ（火山マイスター）

16:30 終了

写真



洞爺湖ビジターセンター/火山科学館での説明



オープニングミーティング（審査員からの挨拶）



オープニングミーティング（下道会長）



オープニングミーティング（加賀谷事務局次長）



大地の恵み展の説明



洞爺湖温泉観光協会の説明

7月9日(日) スケジュール

- 8:20 **三松正夫記念館 視察** 説明：三松 三朗 三松正夫記念館館長 (火山マイスター)
- 9:00 **昭和新山ガイドツアー** 説明：三松 靖志 壮瞥町役場商工観光課 課長 (火山マイスター)
- 10:20 **火山村情報館/有珠山ロープウェイ 視察** 説明：飯田 理 ワカサリゾート(株) (火山マイスター)
- 11:30 **有珠山テラス 火口原展望台ガイドツアー** 説明：中岡 紗恵子 (火山マイスター)
- 13:30 昼食 (ナミハイピザ) 説明：鴨井 智士 (ベリーファームとようら)
- 14:30 バスで移動 説明：田中 博子 噴火湾とようら観光協会 事務局次長 (火山マイスター) 『豊浦町の観光と産業』
- 15:00 **豊浦町礼文華キャンプ場、豊浦町アイヌ文化情報発信施設イコリ** 説明：宇治 義之 豊浦アイヌ協会 会長
- 16:20 **とうや・水の駅 視察** 説明：中谷 麻美 事務局員
- 17:20 **乃の風リゾート着 (審査員休憩)**
- 18:30 **プレゼンテーション① (乃の風リゾート)**
- 発表：下道 英明 会長『洞爺湖有珠山ジオパークの資産と、持続可能な開発ポリシー』
- ：加賀谷 にれ 事務局次長『重点プロジェクト 2023-2026』
- 19:00 **歓迎夕食会**
- 20:00 終了

写真



三松正夫記念館での説明



昭和新山ガイドツアー



火山村情報館の説明



有珠山ロープウェイの説明



昭和新山をバックに集合写真



火口原展望台ガイドツアー



豊浦町の観光と産業について説明



豊浦町アイヌ文化情報発信施設イコリでの説明



とうや・水の駅の説明



プレゼンテーション①



プレゼンテーション①



審査員と首長との集合写真

7月10日(月) スケジュール

- 8:20 **西山山麓散策路ガイドツアー** 説明：佐々木 美穂子（火山マイスター）
- 10:15 **虻田郵便局説明** 説明：置田 貴文（虻田郵便局 課長）
- 10:40 **洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設 ウトゥラノ 視察**
- 11:00 **入江・有珠地区アイヌ語地名ガイドツアー** 説明：中山 洋子（火山マイスター）
：福田 茂夫（火山マイスター）
- 12:45 昼食（ホテルロイヤル）
- 13:30 **プレゼンテーション②（ホテルロイヤル）**
説明：畑 吉晃 事務局長 『洞爺湖有珠火山マイスター制度について』
：阿部 秀彦（火山マイスター） 『洞爺湖有珠火山マイスターの活動について』
- 14:00 **ガイド意見交換**
- 15:00 **北黄金貝塚世界遺産サイト** 説明：永谷 幸人（伊達市教育委員会 学芸員）
：矢元 信一（オコンシベの会 代表）
- 16:45 **入江・高砂貝塚世界遺産サイト** 説明：神馬 久夫（TOYAKO 縄文ガイドの会 会長）
：宮川 菜々（TOYAKO 縄文ガイドの会）
：角田 隆志（洞爺湖町教育委員会 学芸員）
- 18:10 終了

写真



西山山麓火口散策路 新コースの案内①



西山山麓火口散策路 新コースの案内②



虻田郵便局の取り組みの説明



入江・有珠地区アイヌ語地名ガイドツアー（バチラー夫妻記念教会堂）



プレゼンテーション②



ガイド意見交換



北黄金貝塚の説明



入江・高砂貝塚館の説明

7月11日(火) スケジュール

- 08:15 湖畔の宿 洞爺かわなみ 説明:川南 恵美子(火山マイスター) 庵 匠(壮警町役場 総務課長)
- 09:00 白絹の床サイト紹介 説明:酒井 史明(パシフィカ/火山マイスター)
- 10:00 道の駅そうべつ情報館 i 視察 説明:三松 靖志 壮警町役場商工観光課 課長
- 10:10 そうべつ情報館 i 火山研究資料室 視察 説明:岡田 弘 学識顧問(北海道大学名誉教授)
- 10:40 プレゼンテーション③/パートナー意見交換 発表:金田 皓樹 学術専門員『教育のサポートとパートナー制度』
:前橋 史子/荒町 美紀『パートナーとしての活動』
- 12:30 昼食(わかさいも)
- 14:00 審査資料の確認
- 18:00 終了

写真



白絹の床の説明



道の駅そうべつ情報館 i の説明



有珠山の噴火史について説明



プレゼンテーション③



パートナー意見交換



審査資料の確認

7月12日（水） スケジュール

8：30 クロージングミーティング 洞爺湖町役場

9：30 メディア取材

10：30 審査員出発（新千歳空港へ移動）

<終了>

写真



クロージングミーティング



下道会長への挨拶

ユネスコ世界ジオパーク再認定審査 2023

審査員コメント（要約）

日時 2023（令和5年）年7月12日

会場 洞爺湖町役場

※この講評は、現地審査員による審査終了時点の感想であり、正式な指摘事項を含む審査可否については2024年5月頃に通知される予定です。

【ジン・ジシン（景 之星）先生】

この4日間、再審査ということで滞在させていただきましたが、非常に希少なジオサイトを数多く体験させていただきました。ジオパークの素晴らしい景色に感動しました。大地の味ともいえる独自のおいしい食べ物も満喫しました。それから、アイヌ文化の貴重な体験もさせていただきました。私が最も感銘を受けたのが、このジオパークが持つ『減災文化』です。前回の再審査から4年間を経て、このジオパークは、素晴らしい進捗・実績をあげていると感じています。

しかし、今後に向けて、さらなる改善点があるとも感じました。いくつか提案をさせていただきます。

1つ目は、拠点施設のユネスコロゴを新しいロゴ（青）に統一していただきたいということです。新しいロゴのシールを上から貼るなどの対策を他のジオパークではしています。新しいロゴに変える理由は、ユネスコの3つのプログラム（世界遺産、ジオパーク、エコパーク）のロゴを統一し、同じユネスコの取り組みという共通のイメージを持ってほしいからです。

2つ目は、ガイドツアーに関する提案です。一般の方への教育・プロモーションに関して強化してもらいたいです。例えば、ガイド中に熊に遭遇した際の対処法など、外国人観光客に対する正しい教育・知識を持ってもらう必要があります。

3つ目は、ジオパークの宣伝（プロモーション）のさらなる強化です。マーケティング戦略を駆使し、さらに多くの人をジオパークに呼び込んでほしいです。洞爺湖有珠山ジオパークの持続可能性を、さらに強化して外に向けて発信していただきたいと思います。

4つ目は、パートナーとの結びつきの強化です。パートナーの皆様は、より深くジオパークに関わってほしいと思います。協力関係の強化し、ジオパークのステータスをさらに強化していただきたいと思います。

5つ目はJGN（日本ジオパークネットワーク）、GGN（世界ジオパークネットワーク）に減災文化・教育の多言語、多面的な展開をしてもらいたいと思います。この地域での減災文化・教育は100年以上前から始まったものと理解しています。皆様が持っている貴重な知識・経験を、火山を有するGGNに共有していただきたいです。新たな素晴らしい貢献をGGNにしてもらいたいと思います。

最後に、洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパークがさらなる発展をすることを祈っています。あらためて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【ハン・ジンファン（韓 晋芳）先生】

私からは二つ提言があります。

一つ目は減災文化に関する提言です。この地域では、減災文化は非常に大きな位置を占めている印象を受けました。減災に関しては、人類全体が考えなければいけない問題です。洞爺湖有珠山ジオパークの皆様は、減災文化の実践・経験を積んでいます。この実践・経験を、地元だけでなく世界全体に発信し貢献していただければ、よりよい世界になると考えています。

二つ目はビッグデータに関する提言です。ビッグデータを活用すればより発展が見込まれます。例えばビッグデータを活用して顧客分析を行ってもらえればと思います。そして、顧客分析だけではなく、災害分析や災害予測にも使ってほしいです。そういった情報を活用して、市場の需要を詳細に知ることができます。物品サービスの向上させることで顧客の満足を高めることができます。ジオパークの競争力の向上もデータ活用で可能になります。将来的には、データの精算や収集に関して様々な方法やっていくべきです。データ収集に関しては、最近の中国では、SNS（Twitter、Instagram、Facebook、TikTok）を活用して収集することが一般的となっけていきています。また、データ収集に関しては、古くからあるアンケートも非常に効果があります。

以上私からの提案です。最後になりますが、この地域に住んでいる皆様が、健康で幸せで、さらに良い生活を営めることを心より願っております。

<以上>